

アンケート調査結果の概要

【主な行動パターン】

- 主な移動目的は通勤との回答が5割、買物との回答が4割
- 主な移動交通手段は自動車との回答が8割
- 片道の移動距離は15km以下が8割

【渋滞の現状に対する意識】

- 車の速度メーターに対してイライラを感じる速度は15km/h以下が5割
- 実所要時間に対して10分程度の短縮を望む回答が多い

【渋滞対策の必要性】

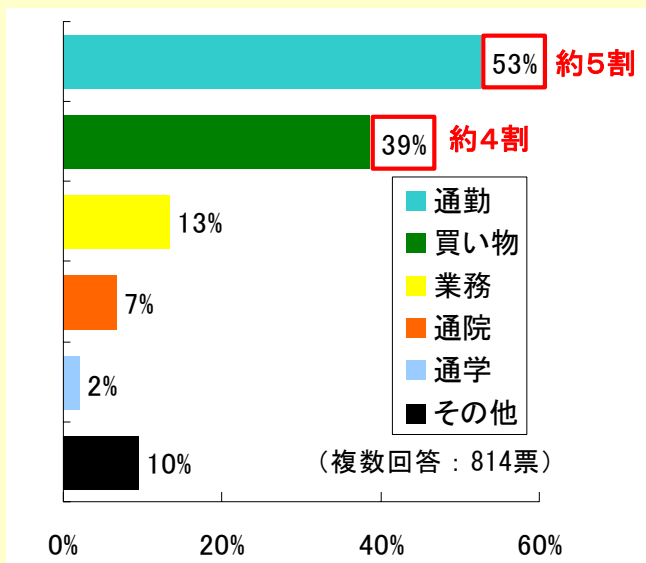
- 渋滞対策について、とても必要だと思うとの回答が6割、必要と思うとの回答が3割と、あわせて9割の方が渋滞対策の必要性を感じている

【渋滞に対する重要な対策】

- 渋滞に対する3つのとりくみ（交通経路の分散、交通利用時間の分散、交通手段の分散）のうち、最も重要と思うとりくみは、「交通経路の分散」および「交通手段の分散」との回答がそれぞれ4割
- 「交通経路の分散」を可能にする2環状7放射をなす道路網の整備は必要との回答が8割
- 「交通手段の分散」のうち有効だと思われるのは、パークアンドモノレールライド（P&MR：自動車を駅近くの駐車場に停めモノレールへ乗り換える）が5割と最も多く、次いで、自動車をやめてモノレールへ転換が4割

アンケート調査の実施内容

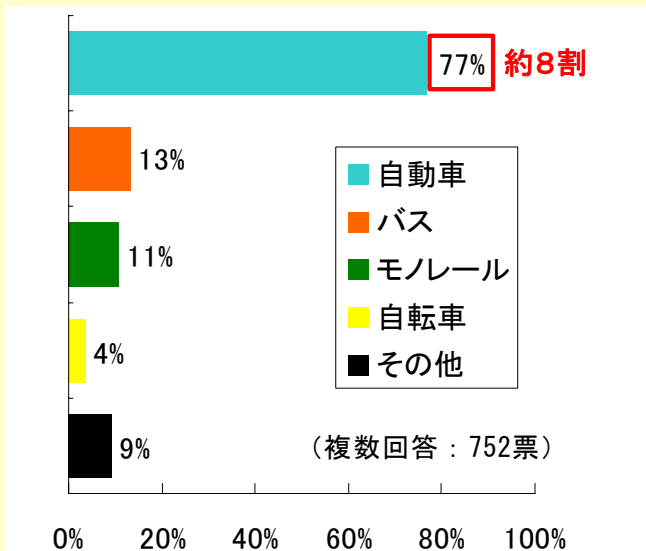
○那覇都市圏内を移動する主な交通目的は何ですか？



(有効回答者数=662人)

回答者のうち、主な交通目的として通勤目的との回答が約5割、次いで買物目的との回答が約4割であった。

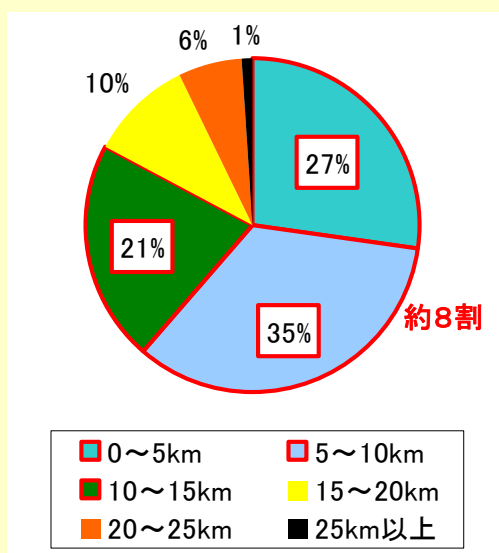
○那覇都市圏内を移動する際の主な交通手段は何ですか？



(有効回答者数=659人)

回答者のうち、主な移動交通手段として自動車を利用しているとの回答が約8割であった。

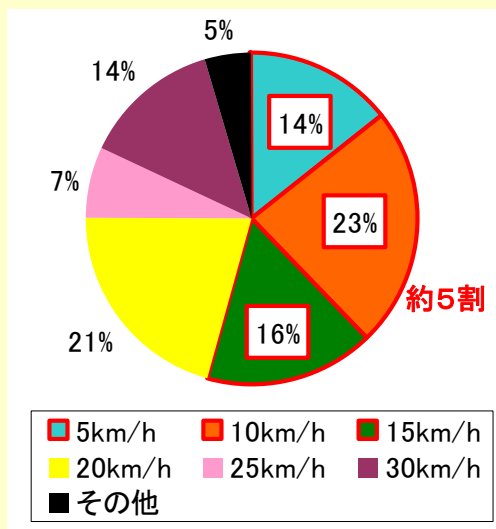
○那覇都市圏内を移動する際の移動距離はおよそ何kmですか？



(有効回答者数=545人)

回答者のうち、移動距離が15km以下であるとの回答が約8割であった。(10km以下が約6割、5km以下が約3割)

○あなたは、車の速度メーターが何km/hに下がったら、イライラを感じますか？



(有効回答者数=621人)

回答者のうち、イライラを感じ始める車の速度メーターの表示は、15km以下との回答が約5割であった。

○今の行動パターンの所要時間に対し、何分短縮すれば満足しますか？

(有効回答者数=395人)

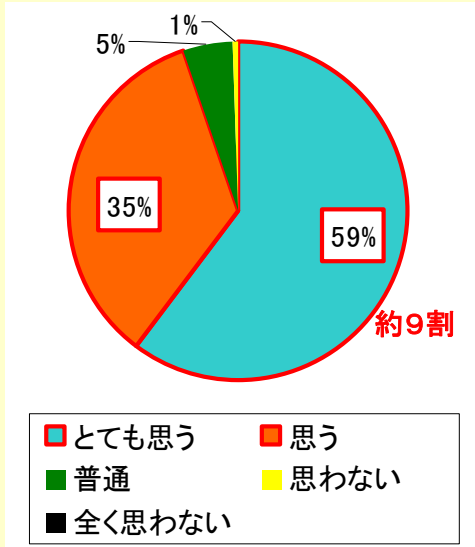
回答者のうち、今の行動パターンの所要時間に対し、30~40分程度の所要時間の場合は10分程度、20分以下だと5分程度の短縮を望む声が多かった。

短縮時間	今の行動パターンの所要時間																			計		
	10	12	14	15	20	23	25	28	30	35	40	45	50	55	60	65	70	80	90		120	180
0	1	1		1	3				1				1									8
2	2							1														3
3					2																	2
5	8		1	13	23	1	4	1	13	3	2	2									1	72
6				1					1													2
8	1			1					2			1		1								6
10				10	19		10		66	10	23	6	3		6	1		4	1	1	1	161
13									1													1
15					4				14	2	14	8	9	2	9	1	1		1	1	1	67
20									5		13	2	4	3	7	1	1	2	3	1	1	43
23							1					1										2
25																						0
30									1	2			5		9		3	2	3	1	1	27
40																1						1
計	12	1	1	26	51	1	15	1	103	17	54	20	22	6	32	3	5	8	8	4	5	395

約4割

■：各所要時間に対して期待する短縮時間の最大値

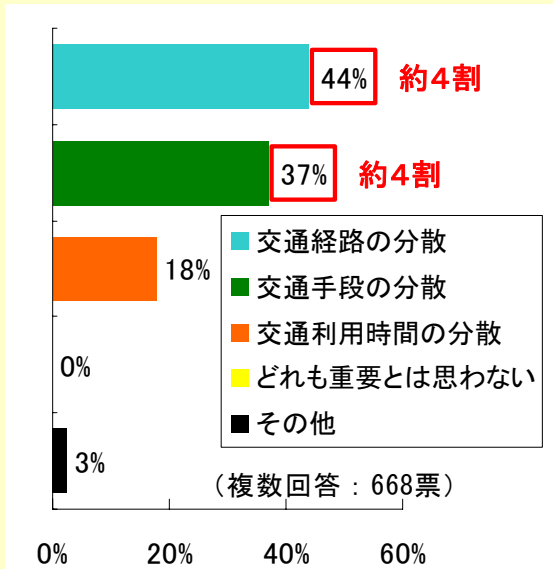
○那覇都市圏への渋滞対策は必要と思いますか？



(有効回答者数=660人)

回答者のうち、「とても思う」および「思う」との回答が合わせて約9割であった。

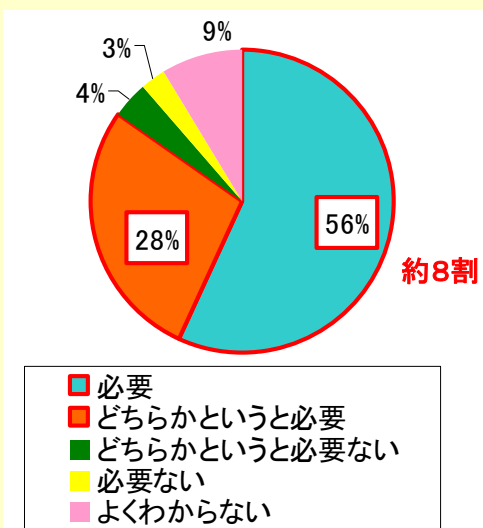
○渋滞に対する3つのとりくみのうち、最も重要と思うとりくみは何ですか？



(有効回答者数=657人)

回答者のうち、「交通経路の分散」および「交通手段の分散」との回答がそれぞれ4割であった。

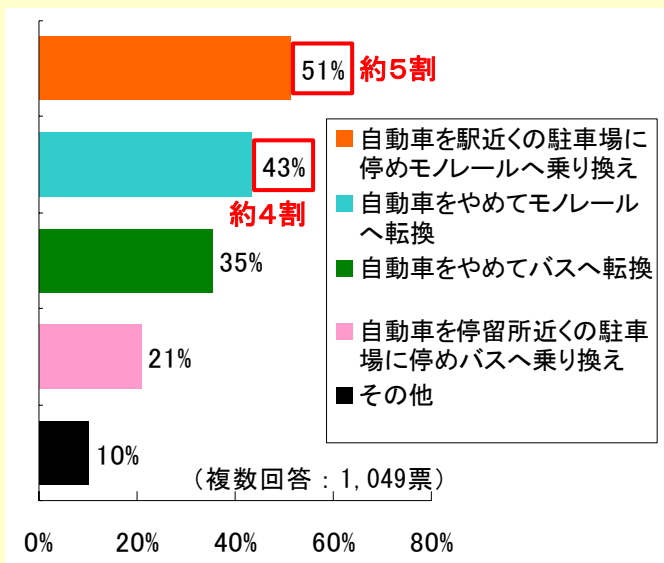
○2環状7放射をなす道路網は必要だと思いますか？



(有効回答者数=660人)

回答者のうち、「必要」および「どちらかという必要」との回答が合わせて約8割であった。

○交通手段の分散のうち、有効だと思うものは何ですか？



(有効回答者数=652人)

回答者のうち、「自動車を駅近くの駐車場に停めモノレールへ乗り換え(P & MR)」が有効との回答が約5割と最も多く、次いで、「自動車をやめてモノレールへ転換」が約4割であった。